

2017年2月21日

株式会社 リクルートキャリア

2018年卒の学生・既卒生のための就職情報サイト
3/1 (水) 「リクナビ2018」 グランドオープン
学生と企業の相互理解をサポートする動画サービスを開始！
よりスムーズな就職活動をサポートする機能も追加！

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳川 昌紀）は、2017年3月1日（水）に、2018年卒の学生（大学院、大学、短大、専門学校、高専）および既卒生を対象にした就職情報サイト「リクナビ2018」（<https://job.rikunabi.com/2018/>）をオープンします。

リクナビ2018の開発背景

当社では、創業以来、「学生が、自分に最もふさわしく、自分を伸ばすことのできる企業を選び、企業は明日の繁栄を担う人材を求める。この2つのことが両立していくためには、企業と学生間のコミュニケーションが十分に成立していかなければならない。」という考えに基づき、サービスを進化させてきました。

リクナビにおいても、学生の就職活動や企業の採用活動をサポートするために尽力してきました。とくに、学生にとっては、自分にフィットする企業と出会うように①「企業を知る」、②「自分を知る」ということに加え、就職活動における③「負担の軽減」の3点を軸として開発を進めてきました。

これまでには、②「自分を知る」ための機能として、自己分析を補助する「SPI性格検査」の提供や、多くの就職活動生と接してきたキャリアアドバイザーがエントリーシートアドバイスをを行う「エントリーシートアドバイスサービス」の実施、気になる企業を蓄積するだけで自分自身が興味を持っている企業の特徴や傾向が可視化できる機能の追加をしました。また、③「負担の軽減」のためには、UI（ユーザーインターフェース）を大幅に改善し、直感的に利用できるようにしました。

そしてこの度、リクナビ2018では、とくに①「企業を知る」、③「負担の軽減」について改善を進めました。今年もリクナビは、就職活動生・企業双方のより良い出会いをサポートします。

リクナビ2018の特徴

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1. 企業情報の充実 | <企業を知る> |
| 2. 企業と出会うための機能を強化 | <企業を知る> |
| 3. よりスムーズな就職活動のサポート機能を追加 | <負担の軽減> |

リクナビ2018の特徴詳細

1. 「企業を知る」ための企業情報を充実させました

当社、就職みらい研究所の調査「就職白書」によると、とくに多くの学生が就職活動時に知りたかった情報や、知りたかったのに実際に知ることができなかった学生の割合が多かった情報は、「給与・待遇」に関するものと「企業風土・社風」に関するものでした。そのためリクナビ2018では、これら2つの項目を充実させることとしました。

(1) 「給与・待遇」情報を充実させました

若者雇用促進法の施行に伴い、求人企業に開示が義務化された職場情報を掲載します。企業の情報開示を促進するため、開示項目が多い企業が優先的に表示される仕組みになっています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
 TEL：03-3211-7117 MAIL：kouho@waku-2.com

(2) 「企業風土・社風」情報を充実させました



文字や画像だけでは伝わりにくい事業内容はもちろん、職場の様子や雰囲気伝えるために、動画サービス「リクナビキャスト」を始めます。文字よりも圧倒的に情報量が多い動画を活用することで、企業が伝えたい情報と学生が知りたい情報を可視化して学生と企業の相互理解を深め、最適なマッチングを目指します。リクナビ2018で企業を検索した結果が一覧表示される画面や、個別の企業ページで閲覧することができるようになります。

また、こうした動画を通じたコミュニケーションの効果をリクナビ2018の画面上だけに留めることなく最大化するため、当社では今回、Googleの動画プラットフォーム「YouTube」と、動画コンテンツの制作に強みを持つ株式会社Viibarとともに、「リクナビキャスト プレミアパック」というプランを提供します。このプレミアパックでは、3社の強みを合わせることで、職場の様子や雰囲気をより効果的に伝えることができる動画の制作を可能にするとともに、リクナビ2018の画面上だけでなく、YouTubeのTrueView広告としても目に触れる機会を増やすことができます。そのため、自分では気づくことができなかった企業と出会うきっかけを学生に提供できると考えています。なお、TrueView広告の動画を視聴完了し、かつリクナビ会員の学生には、後日、当該企業に関する情報をメールでお知らせします。



▲「リクナビキャスト」
リクナビ 企業検索結果一覧画面



▲「リクナビキャスト」
リクナビ 企業トップ画面

「リクナビキャスト プレミアパック」の仕組み



2. 多くの企業情報のなかからフィット感のある企業・職場情報と出会うための機能を強化しました

リクナビでは、学生と企業の最適なマッチングを実現するために、これまでも様々な仕組みを導入してきましたが、学生と企業のフィット感をさらに強化するため、この度、「リクナビスカウト」というサービスを開始します。学生がOpenES*に記入したこれまでの経験に関する情報をAI技術で分類し、一人ひとりの学生の様々な経験や持ち味を見える化して検索軸にすることで、自社が求める学生を個人で特定できるようにしました。学生には、企業から会社説明やプレエントリー（資料請求）の案内などが届く仕組みですが、その際には、企業が学生のエントリーシートの興味を持った部分にマーカーを引いてフィードバックする機能を搭載しているため、学生は自分のどの

ような経験を活かすことができるか、どのような能力が求められているかなどを知ることができます。これにより、学生と企業の相互理解をサポートしたいと考えています。

*OpenES（オープンイーエス）
学生があらかじめ情報を登録することで、さまざまな企業にその内容をエントリーシートや履歴書として効率的に提出できるサービスです。2013年11月より運用を開始しました。各社の選考に進むためにはエントリーシートの提出が必要なことが多く、「自己PR」や「学生時代に最も打ち込んだこと」など、同じ内容を何度も書くことが珍しくありません。こうした負担を軽減し、学生と企業の出会いの機会の拡大と、より深い相互理解の一助となることを目指しています。現在、6000社以上が導入し、学生約30万人が登録しています。（2016年実績）

あなたが書いたOpenESの、この部分に興味を持ちました。

私が学生時代最も注力して取り組んだことは、高校生のキャリア支援を目的として活動する学生団体を立ち上げ、継続する団体として成長させたことです。理念や組織形態がしっかりと定まっていない中で立ち上げとなったため、メンバーのモチベーションが続かないという問題が発生しましたが、一人一人と向き合い、それぞれのメンバーがこの団体で何を実現しようとしているのかということ把握し、実現できる環境づくりを推進していくことに努めました。結果、メンバー間の結束が一層強まり、それぞれが主体的に行動する組織になりました。既に一期である私は引退していますが、後輩への引き継ぎが完了し、次の世代にもこの風土は継続しています。また他大学にも賛同者が増え、現在は10大学、100名を超えるメンバーを擁する団体にまで成長しました。立ち上げるだけでなく、継続的に活動する団体に成長させることが出来た経験は、私の誇りです。

▲企業から届く文面（例）

3. よりスムーズに就職活動を進めるためのサポート機能を追加しました

リクナビでは、就職活動生ができる限り快適にナビサイトを活用できるよう、サイトUXの改善やスマホアプリの開発・進化に尽力してきました。これらに加え、リクナビ2018では、就職活動生一人ひとりのちょっとした困りごとを解決できる機能を追加しました。人工知能を活用してリクナビでの行動履歴を解析し、何をすべきか迷っていそうな学生を自動抽出して、次は何をしたいのかを予測します。そして、その行動を補助するツールを画面に表示します。学生一人ひとりに寄り添い、それぞれの困りごとを可能な限りその場で解決して学生の負担を軽減することで、よりスムーズな就職活動をサポートします。

こんなことにお困りですか？

-  企業の探し方がわからない... >
-  プレエントリーに踏み切れない... >
-  どれくらいエントリーしたらいいの？ >

▲困りごと解決の画面

サイト画面上に代表的な困りごとが表示され、解決方法を確認することができる。

リクルートキャリアについて

リクルートキャリアは、私たちが目指したい未来“Our Vision”として、「ひとりでも多くの人が『働く喜び』を膨らませ、『働く喜び』の輪が、新たな活力を生み出している社会を創りたい」と掲げ、就職準備および就職情報サイト「リクナビ」や社会人のための転職情報サイト「リクナビNEXT」などのメディア事業、キャリアアドバイザーが転職活動をサポートする転職エージェントサービス「リクルートエージェント」による人材紹介事業、適性検査「SPI」などの選考支援事業をはじめとした、さまざまな事業・サービスの進化に日々努めています。

なかでも「リクナビ」は、1962年に発刊した「企業への招待」（後の「リクルートブック」）という就職情報誌を源流とし、インターネットが普及し始めた1996年に「RB on the NET」として産声をあげました。冊子からウェブサイトへと形が変わり、2016年にはナビサイトとして20周年を迎えましたが、企業と学生間のコミュニケーションを十分に成立させたいという想いは変わっていません。また、進化する技術を駆使し、より快適で学生に寄り添ったサイトに進化させるべく、日々努力を続けています。

URL: <https://www.recruitcareer.co.jp/>